

## 事務局情報



参事 千明 誠

残暑厳しき折、組合員の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

私は、五月一日付けで烏川流域森林組合参事としてお世話になることになりました千明 誠です。今般、「森だより」の紙面をお借りし、組合員の皆様に謹んで就任のご挨拶を申し上げます。

今年三月末まで、群馬県の林業技師として、林務行政に四十

余年携わって参りました。とりわけ長年関わったのが林業振興の分野であり、森林組合などの林業事業体や林家の皆様とは少なからず接する機会に恵まれ、森林組合制度については、興味を持って取り組んできたところであります。

この度、市川組合長はじめ皆様方のお取計らいにより、森林組合の重責の席に就任することは身が引き締まる次第であり、同時に引き続き林業振興の仕事に就くことは、この上ない喜びであります。

言うまでもなく、林業の振興や地域森林の管理において、森林組合の果たす役割は極めて重要であり、また、森林組合の発展が、地域林業の振興につながるものと確信して参りました。

森林・林業を取り巻く環境は、依然として木材価格の低迷、森林所有者の高齢化や後継者難、更には森林行政の視点が林業経営から環境重視の行政にシフト

され、従来の林業はますます深刻な状況となっております。残念ながら、現在の木材価格下において、森林所有者の皆様が個々の森林経営により林業収入を得ることは、困難な状況です。

一方では森林資源が成熟し、山の宝はまさに宝の山となっております。森林を持っている者には宝の持ち腐れ状態になりそうです。森林組合が力を付けて、組合員に代わって森林を経営し、その収益を森林所有者に還元するシステムの構築が、今、求められています。

昨年度、当組合で実施した搬出間伐事業はその一例で、林業政策の補助制度を活用し、一立方米当たり三千余円の木材代金を還元した実績があります。一ヘクタール当たりで二十数万円です。間伐収入ですからそれなりの還元額ではないでしょうか。現在、当組合管内の見渡す限りの山々において、スギを中心とする木材資源が、今、まさに収

穫されるのを待っている状況です。これら木材資源を世に送り出そうではありませんか。そして、多くの県民の皆様が素晴らしい資材である木材を利用して頂きましょう。

結びに、私は、事業体の運営に携わるのは一年生ですが、市川組合長をはじめ役員の皆様のご指導を仰ぎながら、長年の林業行政の経験を活かし事務局職員、作業班員の皆様と力を合わせ、当組合の発展と当地域の林業振興に精一杯尽くしたいと考えております。

組合員の皆様方には、ご指導とご鞭撻を心からお願ひ申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

